渡嘉敷小中だより

自ら学び、心豊かに、たくましく、

自立（15の春の旅立ち）する児童生徒の育成

第3号
令和8年5月28日（木）
渡嘉敷村立渡嘉敷小中学校
校長　西原琢哉

不審者避難訓練

令和8年5月26日（火）5校時に不審者避難訓練を実施しました。学校には多くの方々が、様々な用事で訪れます。大半は、正当な理由があり、子どもに危害を加える恐れはありません。しかし、中には、正当な理由がなく校地や校舎に立ち入ったり、立ち入ろうとする者があります。今回は、「正門より不審者らしき人が侵入し中庭をウロウロしている。」「職員の声かけに応じず、児童生徒玄関から校舎内に入った。階段を上がり、中1教室に侵入しようとしている。」場面を想定して実施しました。避難開始のアナウンスから1次避難場所の体育館まで避難しましたが、約3分の時間がかかりました。緊急時の一次避難場所までの移動時間を2分以内に出来ればと考えています。

～児童の感想 小4 中村　丞 さん～
いろいろ人がたくさんいる場所でも、不審者に遭わないように気をつけていきたいです。

～生徒の感想 中2 神林　修士 さん～
「いつ、不審者がくるかわからなので、油断しないで対応していきたいです。

～校長講話～「危険回避能力」とは、「自ら危険を予測し、回避する能力」のことです。自ら危険を予測するためには、危険の存在に気付き、どのような結果が予測されるかを考える力が必要になります。　一番危ないのは、「大丈夫だろう」という思い込みです。また、自ら危険を回避するためには、素早く・的確に判断し、より安全な行動を選択する能力、主体的に行動する態度が必要になります。迷わず、勇気をもって避難する、そして、自分のできうる最大限の行動を取り「命を守る」ことが大切になります。万が一に備えて平時から「危険回避能力」を高めていきましょう。